



第5学年 「比例」 谷村 千代 教諭

同じ直方体を重ねる場面からスタートし、「公式を用いて体積を求めなくても、高さが2段になったら体積は2倍になるから…」との声から、伴って変わる二つの数量を表に表していきました。その表を縦に見たり横に見たりする見方を引き出し、それを比例の定義である言葉、さらに式化へとつなげていくという提案でした。

若年教員の方々を中心に「表の見方をどのように共有させていくか」「見つけたことをいかに式化へつなげていくか」などを論点としたグループ協議がなされました。それを小林祐美子主幹教諭がまとめ、全体で共有しました。



新学習指導要領を踏まえたカリキュラムを描く — 木を見て、森も見る指導を! —

教科書で数時間扱いの「比例」を独立した単元として構想することは、新学習指導要領の趣旨を踏まえたカリキュラムを描いたとは言えない。「比例」の考えは、変化と関係の領域だけで身に付くものではなく、他の領域の学習の中でこそ働かせていく考えだからである。今回は第5学年の簡単な比例の場面であるが、小1から中3へと関数の見方・考え方を成長させていけるよう「比例」の学習を意図的に組織化していくことが必要である。

齊藤一弥
学力向上総括
専門官による
指導板書



授業者の声

単元の構想や新学習指導要領の解釈、学びを系統的に見るとはどのようなことなのか、たくさんのことを考える場となりました。今回の学びを次の校内研での授業につなげたいです。

参会者の声

小学校からのつながりを意識しての授業構成やゴールイメージをもつことの大切さに改めて気付きました。小・中9年間を見据えた研究会にまた参加したいです。

【鳶ヶ池中 卜部真二教諭】

大篠小学校では今、公開授業に向けて単元計画から見直しています。

次回は **5月16日(水)**
14時05分授業開始です!
ぜひご参加ください!

